# 野生獣被害対策実践リーダーの育成

#### 大津 · 南部農業農村振興事務所農産普及課

#### 【普及活動のねらい・対象】

管内の鳥獣害被害集落は78集落あり、被害金額は、4,600万円(H21)、3,466万円(H22)、6,900万円(H23)と、甚大な被害が出ています。

個別で行っている獣害対策では農地を守る事が困難になってきているため、個人対策から集落ぐるみの対策に移行して行く必要があります。 そのために、集落で獣害対策のリーダーとなっていただく人材の育成を目標に活動を行いま



柵の管理について見学する参加者

### 【普及活動の内容】

した。



猟友会支部長による 捕獲ノウハウの研修

今年の集中講座はケーススタディを主に置き、大津市新 免地先をお借りして行いました。第1回集中講座は、「柵に よる防護技術および柵を獣が突破した後の対処方法」と題 して開催し、関係機関を含め41名が参加しました。現地 研修では、集落で長年にわたって設置されてきた柵とその 保全管理状況を見学し、管理体制についても研修を行いま した。

第2回集中講座のテーマは、「野生獣の捕獲」に開催し、 関係機関を含め49名が参加しました。

西部・南部森林整備事務所から、鳥獣の捕獲に関する研修を行いました。現地研修では滋賀県猟友会湖南支部から、 実際に使用している箱ワナを前にして、捕獲にかかるノウハウについて学びました。

## 【普及活動の成果】

2回の集中講座に参加された26名の方には修了証を発行し、集落における獣害対策の リーダーとして活躍しています。

侵入防止柵を設置することで、農作物被害がほとんどなくなった集落や、野菜の生産も可能となって集落で朝市を開催するに至った集落が出てきています。また、複数集落で連携して柵を設置する例や、集落で野生獣の捕獲に取り組む例なども生まれてきました。